

ひとみキラキラ！ 毎月19日は、稲田っ子「食育の日」！

稲田という地名の由来を知っていますか？

稲田小学校 70 周年記念誌に、その答えがのっていました。

1896年頃、岐阜の水田を参考に今の稲田地区に苦勞をして水田を造ったそうです。その後、地域の人たちと話し合い「稲田」という名前にしたとされています。

よし！稲田っ子は、ごはんをモリモリ食べよう！！



わたし そせん こめ ふくさんぶつ めか こめ じる
私たちの祖先は、米だけでなく、その副産物であるわらや糠、米のとぎ汁

むだ にちじょう せいかつ なか りょう いと なつとも つく
を無駄なく日常の生活の中で利用してきました。糸ひき納豆を作るにも

なつとうきん りょう せんざい じゅうぶん
わらについている納豆菌を利用しました。ぬかは洗剤が十分でなかった

ころ せつ だいようひん
頃は石けんの代用品でした。

しょうがつ かざ
お正月にかざる、しめ飾りり

こめ つか
も「米わら」を使っています。

かみさま こ こくほうじょう れい
神様に、五穀豊穡のお礼をし

ねが
たり、お願いをこめたりして

こめ つか つく
「米わら」を使って作るので

すね。

